第18回茨城県作業療法学会
第10回北関東信越ブロック学会
一般演題募集要項

1．応募資格

○演者（筆頭）は、日本作業療法士協会の正会員かつ各都道府県作業療法士会会員に限ります。演題登録までに2026年度の会費を納入していることをご確認ください。会費未納者は、応募前に必ず納入してください。茨城県作業療法士会未入会の方は、入会申込書を県士会ホームページからダウンロードし、事務局まで入会手続きを済ませください。※共同演者は会員以外でも可です。

【茨城県作業療法士会 入会手続き先】
〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内
公益社団法人 茨城県作業療法士会 事務所 事務局長 小森 裕一
TEL：029-302-7092 FAX：029-353-8475 E-Mail：office2@ibaraki-ot.org

○演者（筆頭）が養成校学生（院生は除く）の場合は、日本作業療法士協会の正会員かつ各都道府県作業療法士会会員である方を共同演者としてください。
○筆頭演者1人につき、1演題の申し込みとします。なお、共同演者としての連名はこの限りではありません。共同演者の了解を得た上で応募してください。なお、共同演者も筆頭演者と同等の責任を負うことをご承知ください。

2. 応募内容と発表形式

○症例報告、研究報告、活動報告、生活行為工夫情報事業に関する報告などを幅広く募集します。発表経験のない方や養成校学生の皆様も、この学術集会が会員同士の交流の場であることを心に留めて、ふるってご応募くださるようお願い申し上げます。

○生活行為工夫情報事業につきまして、道具や環境の調整・整備についての工夫・アイデアでご発表を考えている会員は、ぜひ同内容で生活行為工夫情報事業の事例登録もお願いいたします。日本作業療法士協会の生涯教育ポイントが 1 ポイント追加取得可能です。

○発表時間は 7 分，質疑応答時間は 3 分です。

○発表形式は、ポスター発表のみといたします。
最終的な発表時間や発表場所については、発表者様へ後日メールにてお送りする茨城県作業療法士会機関誌データより確認をお願い致します。
また、発表者様へは学会当日、機関誌をお渡しする予定です。

○演者が養成校学生の場合は、取り組みの報告や研究計画などでも構いません。抄録は養成校教員等から指導を受け作成してください。

３．演題募集期間

2026年4月15日（水）～2026年7月15日（水）

締め切り当日はアクセスが集中し、演題登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持って登録を行ってください。また、登録システムに障害が発生した場合は、締め切りを延長する可能性があります。
演題募集期間中は登録した内容の確認・修正・削除が可能です。修正する場合は、演題登録時に自動返信されるメールに記載されている「回答を編集」のバナーをクリックして修正・再登録してください。

４．登録方法

インターネットを利用したオンライン登録のみです。
茨城県作業療法士会ホームページに掲示される学会バナーをクリックし、作業療法士の方は『作業療法士』から、養成校学生の方は『養成校学生（院生除く）』から入って頂き、演題登録の手続きをお願いします。
登録画面は募集期間中に開きます。 演題登録は、URLから入っていただき、フォームに必要事項の登録をお願いします。

５．演題内容に関わる倫理的事項について

（1）対象者の同意について
下記の倫理的事項を遵守し、本文中に対象者の同意についての記載が必須です。

（2）最大限倫理的な配慮を行うこと
研究の計画・実行・分析・演題作成の過程にて、個人の尊厳、人権の尊重等の倫理的配慮を十分に行い、各施設に倫理審査委員会がある場合は、審査を受けた旨を記載してください。

（3）著作権への配慮
他の著作物からの引用を行う場合は、本文中に出典の著者と発行年数（フルネーム、西暦）を明記し、著作権を侵害しないように注意してください。

（4）学会長の要請に対する協力について
学会長から、倫理的配慮を証明する文章の提出・説明を求める場合もあります。その際はご協力をお願い致します。

（5）利益相反（COI）の開示について
演題抄録を登録する時と発表時に，発表演題に関連する企業等とのCOI の有無および状態について申告をお願い致します。

（6）生成AI使用時の申告
演題の作成に生成AIを使用された場合は、開示をお願いします。発表時のポスターに、使用した箇所と使用した生成AIの名称について記載してください。

（7）オーサーシップについて
共著者については、研究への実質的貢献を有する者のみを登録してください。
（日本学術振興会「科学の健全な発展のために（第2版）」オーサーシップ（p86）等をご参照ください。）また、生成AIを筆頭演者や共同演者として登録することは適切ではありません。

６．抄録作成の注意点

本文は全角1200文字以内です

（1）図表の使用はできません。
（2）改行せずに入力してください。
（3）本文中に【はじめに】【目的】【方法】【結果】【結語】等の見出しをつけてください。
（4）句読点は「，」「．」に統一してください。「、」「。」「TAB」キーは使用しないでください。
（5）パソコンのOSによっては正常に登録されない可能性があります。文章作成・登録はWindows10以降のパソコンを使用してください。
（6）直接演題登録システムに書き込むのではなく、あらかじめWordなどで文章を作成し文字数を確認したのちに、登録欄にコピー＆ペーストしてください。
（7）略語について
略語は原則として使用できません。但し、本文中に2箇所以上記載する場合に限り使用できます。略語を使用する場合は、Range of motion(ROM)のように初出の時に元語（略語）を記載してください。
なお、演題名および副題には略語を使用することはできません。
（8）その他
ご提出いただいた抄録は基本的には修正されることなく、そのまま
『茨城県作業療法士会機関誌Vol.22（ISSN番号：1346-3098）』 に印刷、掲示されます。
職場の上司や養成校の教員などの指導の下で作成いただくことを推奨いたします。

7．カテゴリー分類

演題投稿の際は、演題のカテゴリーを下記の中から1つ選択してください。

A. 疾患
- 01 疾患（診断、障害、症状、属性、治療法を含む）
- 01-1 整形外科疾患
- 01-2 中枢性疾患（脳血管障害）
- 01-3 中枢性疾患（その他）
- 01-4 内部疾患（呼吸器、循環器など）
- 01-5 悪性腫瘍
- 01-6 その他

B. 身体構造
- 02 筋骨・末梢神経障害（スプリント、義肢を含む）

C. 心身機能
- 03 感覚-運動・中枢神経の障害（脳卒中、頭部外傷を含む）
- 04 認知機能（高次脳機能障害を含む）
- 05 知的障害（知能、認知症を含む）
- 06 発達（発達の障害を含む）
- 07 精神障害（精神関連疾患を含む）

D. 個人因子
- 08 心理（ストレス、障害受容、性格、興味を含む）

E. 活動・参加
- 09 対人関係（コミュニケーション、対人関係スキルを含む）
- 10 セルフケア（ADL、IADL、家屋改造を含む）
- 11 仕事（復職援助、職業リハビリテーションを含む）
- 12 余暇活動（手工芸、スポーツ、趣味、旅行を含む）
- 13 作業全般（作業遂行技能、自立生活、地域生活を含む）
- 14 治療的作業（作業特性、作業分析、集団を含む）

F. 環境因子

15 援助機器（自助具、福祉用具を含む）

16 サービス・環境（社会、制度、他領域を含む）

G. その他

17 専門職関連（理論、倫理、管理、協会、研究を含む）

18 教育（養成カリキュラム、生涯教育を含む）

19 生活行為向上マネジメント（MTDLP）

00 その他

８．キーワードの記載

演題投稿の際には、必ず1つ以上、3つまでのキーワードを、記入欄に記載してください。その際のキーワードにつきましては、(一社)日本作業士協会ホームページの**作業療法キーワード集（2025年10月改訂）**を参照の上、記載してください。

９．演題受領ならびに採否通知

（1）演題受領通知は、登録の際に申請されたメールアドレスに送付します。（携帯アドレスは不可、パソコンのアドレスで登録してください。フリーメールでも構いません。但し、複数人で同一のメールアドレスを共用することはできません。必ず、個人個人のメールアドレスを使用してください）。演題登録後数日以内に受領メールが届かない場合は、お手数ですが問い合わせください。
まれに迷惑メールに振り分けられる場合もございますので、受信確認の際は迷惑メールフォルダも必ずご確認ください。

（2）演題募集期間終了後に査読を行い、登録されたメールアドレスに採択通知をお送りいたします。

【演題採択基準】

最終的な採否は以下の採択基準に従って決定致します。

（1）演題内容に関わる倫理的事項が遵守されている。

（2）論文構成や表現等が適切である。

（3）方法・器具等が具体的に記載されている。

（4）同一の演題名・内容で他学会等において発表されていない。

（5）本学会の「一般演題募集要項」が遵守されている。

１０．演題募集についてのお問い合わせ先

件名の冒頭に【学会演題質問】と入れ、
office2@ibaraki-ot.org
宛てにメールでお願いします。担当より折り返しご返信申し上げます。なお、お問い合わせの際は、
登録した演題タイトルと発表者氏名をお知らせください。

１１．表彰

本学会にて発表された一般演題の中から、優秀演題を選出いたします。
また、養成校学生の発表の中から学生優秀演題を選出いたします。